

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年10月21日(2010.10.21)

【公表番号】特表2006-517532(P2006-517532A)

【公表日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【年通号数】公開・登録公報2006-029

【出願番号】特願2006-500216(P2006-500216)

【国際特許分類】

C 0 7 C 259/10 (2006.01)

A 6 1 K 31/166 (2006.01)

A 6 1 K 31/235 (2006.01)

A 6 1 K 31/192 (2006.01)

A 6 1 K 31/451 (2006.01)

C 0 7 D 211/32 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 259/10 C S P

A 6 1 K 31/166

A 6 1 K 31/235

A 6 1 K 31/192

A 6 1 K 31/451

C 0 7 D 211/32

A 6 1 P 43/00 1 2 3

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

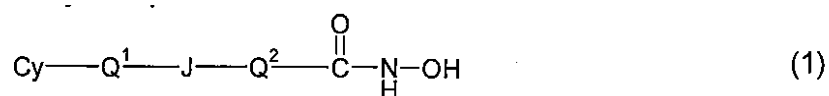
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記式：

【化 1】



[式中、

J は、独立して、

-O-C(=O)-、

-C(=O)-O- および

-C(=O)-

から選択され；

Cyは、独立して、

C₃₋₂₀カルボシクリル、

C₃₋₂₀ヘテロシクリルおよび

C₅₋₂₀アリアル

から選択され、

またCyは

(1) -C(=O)OR¹ (ここで、R¹は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキルである) ;

(2) -C(=O)NR²R³ (ここで、R²およびR³は各々、独立して、-H、または(7)に定義したC₁₋₇アルキルである) ;

(3) -C(=O)R⁴ (ここで、R⁴は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキル、または(8)に定義したC₅₋₂₀アリアルである) ;

(4) -F、-Cl、-Br、-I ;

(5) -OH ;

(6) -OR⁵ (ここで、R⁵は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキル、または(8)に定義したC₅₋₂₀アリアルである) ;

(7) C₁₋₇アルキル ; ハロ-C₁₋₇アルキル ; アミノ-C₁₋₇アルキル ; カルボキシ-C₁₋₇アルキル ; ヒドロキシ-C₁₋₇アルキル ; C₁₋₇アルコキシ-C₁₋₇アルキル ; またはC₅₋₂₀アリアル-C₁₋₇アルキル ;

(8) C₅₋₂₀アリアル ; 置換C₅₋₂₀アリアル ;

(9) -SO₂R⁷ (ここで、R⁷は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキル、または(8)に定義したC₅₋₂₀アリアルである) ;

(10) -SO₂NR⁸R⁹ (ここで、R⁸およびR⁹は各々、独立して、-H、または(7)に定義したC₁₋₇アルキルである) ;

から独立して選択される1以上の置換基で置換されていてもよく ;

Q¹は、独立して、4 ~ 7個の環原子を有する飽和単環式炭化水素の1つの環炭素原子から2個の水素原子を除去することにより、又は、1個の窒素環原子若しくは1個の酸素環原子を含む、4 ~ 7個の環原子を有する飽和単環式複素環式化合物の1つの環炭素原子から2個の水素原子を除去することにより、得られる二価の二座配位基であり ;

またQ¹は、-F、-Cl、-Br、-I、-OH、-OMe、-OEt、-O(iPr)、-Ph、-C(=O)Me、-NH₂、-NMe₂、-NEt₂、モルホリノ、-CONH₂、-CONMe₂、-NHCOMe、ならびに=Oから独立して選択される1以上の置換基で置換されていてもよく ;

Q²は、独立して、

C₁₋₈アルキレン ;

C₅₋₆アリーレン ;

C₅₋₆アリーレン-C₁₋₇アルキレン ;

C₁₋₇アルキレン-C₅₋₆アリーレン ; および

C₁₋₇アルキレン-C₅₋₆アリーレン-C₁₋₇アルキレンから選択され ;

またQ²は、-F、-Cl、-Br、-I、-OH、-OMe、-OEt、-O(iPr)、-Ph、-C(=O)Me、-NH₂、-NMe₂、-NEt₂、モルホリノ、-CONH₂、-CONMe₂、-NHCOMe、-NO₂ならびに=Oから独立して選択される1以上の置換基で置換されていてもよく、ここで、該置換基がアリーレン基にある場合、置換基は、上記に加えて、-Me、-Et、iPr、-tBu、および-CF₃から選択されてもよい。

の化合物、並びにその薬学的に許容される塩および溶媒和物から選択される化合物。

【請求項2】

Jが、-O-C(=O)-である、請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

Jが、-C(=O)-O-である、請求項1に記載の化合物。

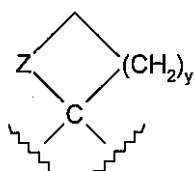
【請求項4】

Jが、-C(=O)-である、請求項1に記載の化合物。

【請求項5】

Q¹が、独立して、式：

【化2】



[式中、

Zは、独立して、 $-\text{CH}_2-$ 、 $-\text{N}(\text{R}^{\text{N}})-$ もしくは $-\text{O}-$ であり；

R^{N} は、もし存在すれば、独立して、 $-\text{H}$ 、 C_{1-7} アルキル、 C_{5-20} アリール- C_{1-7} アルキル、 C_{3-20} ヘテロシクリルおよび C_{5-20} アリールから選択され；

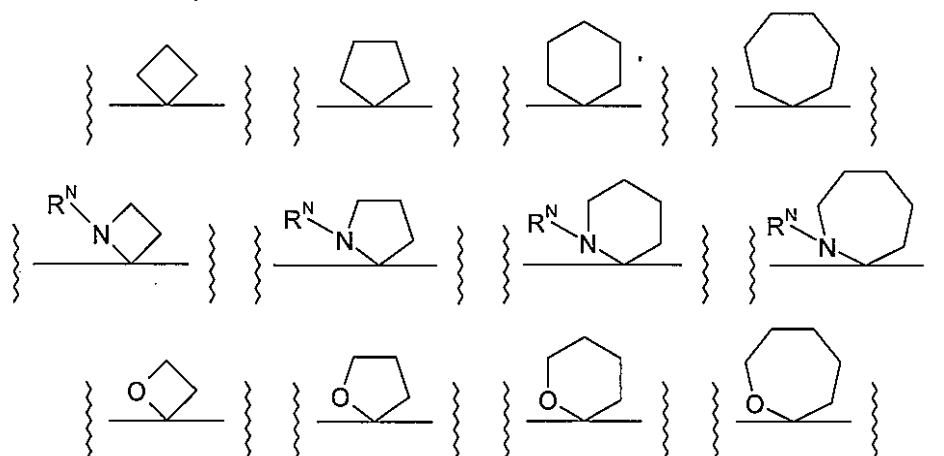
yは、独立して、1、2、3もしくは4である]

の基である、請求項1～4のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項6】

Q¹が、独立して、以下：

【化3】



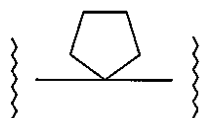
[式中、 R^{N} は、独立して、 $-\text{H}$ 、 C_{1-7} アルキル、 C_{5-20} アリール- C_{1-7} アルキル、 C_{3-20} ヘテロシクリルおよび C_{5-20} アリールから選択される]

から選択される、請求項1～4のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項7】

Q¹が、独立して：

【化4】

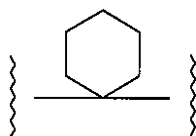


である、請求項1～4のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項8】

Q¹が、独立して：

【化5】

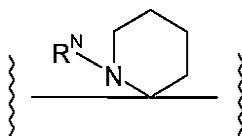


である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 9】

Q¹ が、独立して：

【化 6】



[式中、R^Nは、独立して、-H、C₁₋₇アルキル、C₅₋₂₀アリール-C₁₋₇アルキル、C₃₋₂₀ヘテロシクリルおよびC₅₋₂₀アリールから選択される]

である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 10】

R^Nが、独立して、-H、-Me、-Et、-Ph、および-CH₂-Phから選択される、請求項 5、6 および 9 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 11】

R^Nが、独立して、-Hである、請求項 5、6 および 9 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 12】

Q²が、独立して、C₅₋₆アリーレンであり；またQ²は、-F、-Cl、-Br、-I、-OH、-OMe、-OEt、-O(iPr)、-Ph、-C(=O)Me、-NH₂、-NMe₂、-NEt₂、モルホリノ、-CONH₂、-CONMe₂、-NHCOMe、-NO₂、=O、-Me、-Et、iPr、-tBu、および-CF₃から独立して選択される 1 以上の置換基で置換されていてもよい、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 13】

Q²が、独立して、フェニレンであり；またQ²は、-F、-Cl、-Br、-I、-OH、-OMe、-OEt、-O(iPr)、-Ph、-C(=O)Me、-NH₂、-NMe₂、-NEt₂、モルホリノ、-CONH₂、-CONMe₂、-NHCOMe、=O、-Me、-Et、iPr、-tBu、-CF₃から独立して選択される 1 以上の置換基で置換されていてもよい、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 14】

フェニレン結合がメタである、請求項 13 に記載の化合物。

【請求項 15】

フェニレン結合がパラである、請求項 13 に記載の化合物。

【請求項 16】

Q²が、無置換である、請求項 12 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 17】

Q²が、独立して、

C₅₋₆アリーレン-C₁₋₇アルキレン；

C₁₋₇アルキレン-C₅₋₆アリーレン；および

C₁₋₇アルキレン-C₅₋₆アリーレン-C₁₋₇アルキレン

から選択され、

またQ²は、-F、-Cl、-Br、-I、-OH、-OMe、-OEt、-O(iPr)、-Ph、-C(=O)Me、-NH₂、-NMe₂、-NEt₂、モルホリノ、-CONH₂、-CONMe₂、-NHCOMe、-NO₂ならびに=Oから独立して選択される 1 以上の置換基で置換されていてもよく、ここで、置換基がアリーレン基にある場合、置換基は、上記に加えて、-Me、-Et、iPr、-tBu、および-CF₃から選択されてもよい、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 18】

Q²が、独立して、

フェニレン-C₁₋₇アルキレン；

C₁₋₇アルキレン-フェニレン；および

C₁₋₇アルキレン-フェニレン-C₁₋₇アルキレン

から選択され、

また Q^2 は、-F、-Cl、-Br、-I、-OH、-OMe、-OEt、-O(iPr)、-Ph、-C(=O)Me、-NH₂、-NMe₂、-NEt₂、モルホリノ、-CONH₂、-CONMe₂、-NHCOMe、-NO₂ならびに=Oから独立して選択される1以上の置換基で置換されていてもよく、ここで、置換基がアリーレン基にある場合、置換基は、上記に加えて、-Me、-Et、iPr、-tBu、-CF₃から選択されてもよい、請求項1～11のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項19】

Q^2 が無置換である、請求項17または18に記載の化合物。

【請求項20】

Q^2 が、独立して、メチレン-フェニレンおよびエチレン-フェニレンから選択される、請求項1～11のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項21】

Q^2 が、独立して：-(CH₂)₅-、-(CH₂)₆-、-(CH₂)₇-、および-(CH₂)₈-から選択される、請求項1～11のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項22】

Cyが独立してC₅₋₂₀カルボアリールおよびC₅₋₂₀ヘテロアリールから選択され；またCyは
 (1) -C(=O)OR¹（ここで、R¹は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキルである）；
 (2) -C(=O)NR²R³（ここで、R²およびR³は各々、独立して、-H、または(7)に定義したC₁₋₇アルキルである）；
 (3) -C(=O)R⁴（ここで、R⁴は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキル、または(8)に定義したC₅₋₂₀アリールである）；
 (4) -F、-Cl、Br、-I；
 (5) -OH；
 (6) -OR⁵（ここで、R⁵は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキル、または(8)に定義したC₅₋₂₀アリールである）；
 (7) C₁₋₇アルキル；ハロ-C₁₋₇アルキル；アミノ-C₁₋₇アルキル；カルボキシ-C₁₋₇アルキル；ヒドロキシ-C₁₋₇アルキル；C₁₋₇アルコキシ-C₁₋₇アルキル；またはC₅₋₂₀アリール-C₁₋₇アルキル；
 (8) C₅₋₂₀アリール；置換C₅₋₂₀アリール；
 (9) -SO₂R⁷（ここで、R⁷は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキル、または(8)に定義したC₅₋₂₀アリールである）；
 (10) -SO₂NR⁸R⁹（ここで、R⁸およびR⁹は各々、独立して、-H、または(7)に定義したC₁₋₇アルキルである）

から独立して選択される1以上の置換基で置換されていてもよい、請求項1～21のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項23】

Cyが、独立して：フェニル、ピリジル、フラニル、インドリル、ピロリル、イミダゾリル、ナフチル、キノリニル、ベンズイミダゾリル、ベンゾチオフラニル、フルオレニル、アクリジニル、およびカルバゾリルから選択され；

またCyは

(1) -C(=O)OR¹（ここで、R¹は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキルである）；
 (2) -C(=O)NR²R³（ここで、R²およびR³は各々、独立して、-H、または(7)に定義したC₁₋₇アルキルである）；
 (3) -C(=O)R⁴（ここで、R⁴は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキル、または(8)に定義したC₅₋₂₀アリールである）；
 (4) -F、-Cl、Br、-I；
 (5) -OH；
 (6) -OR⁵（ここで、R⁵は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキル、または(8)に定義したC₅₋₂₀アリールである）；
 (7) C₁₋₇アルキル；ハロ-C₁₋₇アルキル；アミノ-C₁₋₇アルキル；カルボキシ-C₁₋₇アル

キル；ヒドロキシ-C₁₋₇アルキル；C₁₋₇アルコキシ-C₁₋₇アルキル；またはC₅₋₂₀アリール-C₁₋₇アルキル；

(8) C₅₋₂₀アリール；置換C₅₋₂₀アリール；

(9) -SO₂R⁷（ここで、R⁷は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキル、または(8)に定義したC₅₋₂₀アリールである）；

(10) -SO₂NR⁸R⁹（ここで、R⁸およびR⁹は各々、独立して、-H、または(7)に定義したC₁₋₇アルキルである）

から独立して選択される1以上の置換基で置換されていてもよい、請求項1～21のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項24】

Cyが、独立して、フェニルであり；

またCyは

(1) -C(=O)OR¹（ここで、R¹は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキルである）；

(2) -C(=O)NR²R³（ここで、R²およびR³は各々、独立して、-H、または(7)に定義したC₁₋₇アルキルである）；

(3) -C(=O)R⁴（ここで、R⁴は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキル、または(8)に定義したC₅₋₂₀アリールである）；

(4) -F、-Cl、Br、-I；

(5) -OH；

(6) -OR⁵（ここで、R⁵は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキル、または(8)に定義したC₅₋₂₀アリールである）；

(7) C₁₋₇アルキル；ハロ-C₁₋₇アルキル；アミノ-C₁₋₇アルキル；カルボキシ-C₁₋₇アルキル；ヒドロキシ-C₁₋₇アルキル；C₁₋₇アルコキシ-C₁₋₇アルキル；またはC₅₋₂₀アリール-C₁₋₇アルキル；

(8) C₅₋₂₀アリール；置換C₅₋₂₀アリール；

(9) -SO₂R⁷（ここで、R⁷は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキル、または(8)に定義したC₅₋₂₀アリールである）；

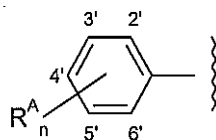
(10) -SO₂NR⁸R⁹（ここで、R⁸およびR⁹は各々、独立して、-H、または(7)に定義したC₁₋₇アルキルである）

から独立して選択される1以上の置換基で置換されていてもよい、請求項1～21のいずれか1項に記載の化合物。

【請求項25】

Cyが、独立して、以下の式：

【化7】



[式中、

nは独立して0～5の整数であり、

各R^Aは独立して

(1) -C(=O)OR¹（ここで、R¹は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキルである）；

(2) -C(=O)NR²R³（ここで、R²およびR³は各々、独立して、-H、または(7)に定義したC₁₋₇アルキルである）；

(3) -C(=O)R⁴（ここで、R⁴は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキル、または(8)に定義したC₅₋₂₀アリールである）；

(4) -F、-Cl、Br、-I；

(5) -OH；

(6) -OR⁵（ここで、R⁵は、独立して、(7)に定義したC₁₋₇アルキル、または(8)に定義したC₅₋₂₀アリールである）；

(7) C_{1-7} アルキル ; ハロ - C_{1-7} アルキル ; アミノ - C_{1-7} アルキル ; カルボキシ - C_{1-7} アルキル ; ヒドロキシ - C_{1-7} アルキル ; C_{1-7} アルコキシ - C_{1-7} アルキル ; または C_{5-20} アリール - C_{1-7} アルキル ;

(8) C_{5-20} アリール ; 置換 C_{5-20} アリール ;

(9) -SO₂R⁷ (ここで、R⁷ は、独立して、(7) に定義した C_{1-7} アルキル、または (8) に定義した C_{5-20} アリールである) ;

(10) -SO₂NR⁸R⁹ (ここで、R⁸ および R⁹ は各々、独立して、-H、または (7) に定義した C_{1-7} アルキルである)

から選択される置換基である]

の置換されていてもよいフェニル基である、請求項 1 ~ 21 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 26】

n が 0 である、請求項 25 に記載の化合物。

【請求項 27】

n が 1 であり、R^A 基が 4' - 位置にある、請求項 25 に記載の化合物。

【請求項 28】

n が 2 であり、一方の R^A 基が 4' - 位置に、他方の R^A 基が 2' - 位置にある、請求項 25 に記載の化合物。

【請求項 29】

n が 2 であり、一方の R^A 基が 4' - 位置に、他方の R^A 基が 3' - 位置にある、請求項 25 に記載の化合物。

【請求項 30】

Cy に任意に存在する各置換基が、各々以下 :

(1) -C(=O)OMe、-C(=O)OEt、-C(=O)OPr、-C(=O)OiPr、-C(=O)ONBu、-C(=O)OsBu、-C(=O)OiBu、-C(=O)OtBu、-C(=O)ONPe、-C(=O)OCH₂CH₂OH、-C(=O)OCH₂CH₂OMe、-C(=O)OCH₂CH₂OEt ;

(2) -(C=O)NH₂、-(C=O)NMe₂、-(C=O)NEt₂、-(C=O)NiPr₂、-(C=O)N(CH₂CH₂OH)₂ ;

(3) -(C=O)Me、-(C=O)Et、-(C=O)-cHex、-(C=O)Ph ;

(4) -F、-Cl、-Br、-I ;

(5) -OH ;

(6) -OMe、-OEt、-OiPr、-OtBu、-OPh、-OCF₃、-OCH₂CF₃、-OCH₂CH₂OH、-OCH₂CH₂OMe、-OCH₂CH₂OEt、-OCH₂CH₂NH₂、-OCH₂CH₂NMe₂、-OCH₂CH₂N(iPr)₂、-OPh、-OPh-Me、-OPh-OH、-OPh-OMe、O-Ph-F、-OPh-Cl、-OPh-Br、-OPh-I ;

(7) -Me、-Et、-nPr、-iPr、-nBu、-iBu、-sBu、-tBu、-nPe、-CF₃、-CH₂CF₃、-CH₂CH₂OH、-CH₂CH₂OMe、-CH₂CH₂OEt、-CH₂CH₂NH₂、-CH₂CH₂NMe₂、-CH₂CH₂N(iPr)₂、-CH₂-Ph ;

(8) -Ph、-Ph-Me、-Ph-OH、-Ph-OMe、-Ph-F、-Ph-Cl、-Ph-Br、-Ph-I ;

(9) -SO₂Me、-SO₂Et、-SO₂Ph ; および

(10) -SO₂NH₂、-SO₂NMe₂、-SO₂NEt₂ ;

から独立して選択される、請求項 1 ~ 29 のいずれか 1 項に記載の化合物。

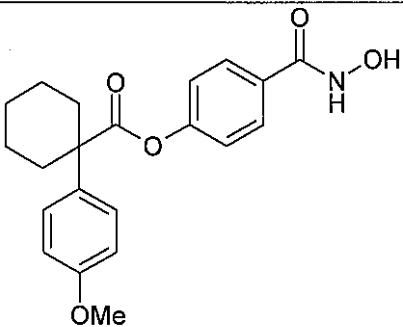
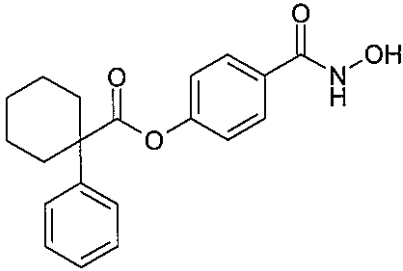
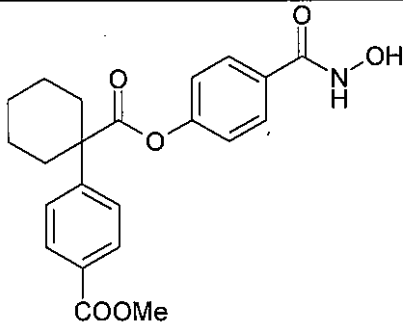
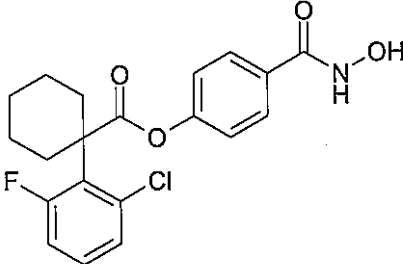
【請求項 31】

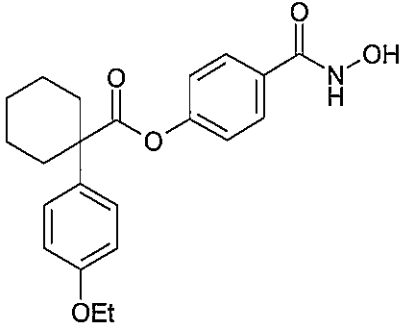
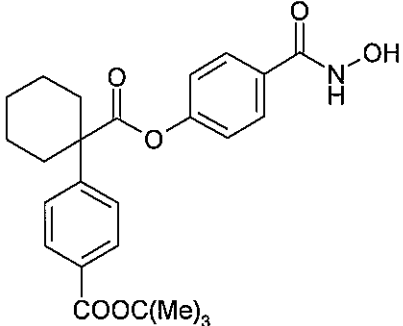
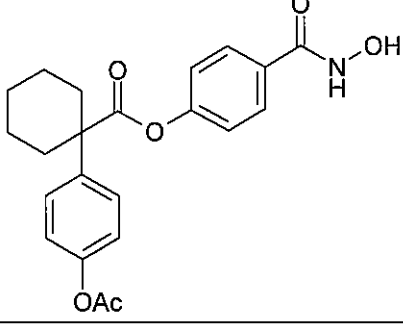
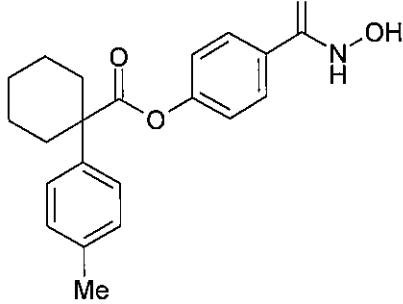
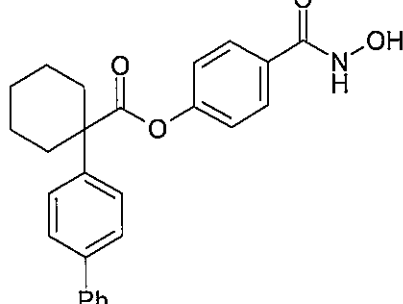
Cy に任意に存在する各置換基が、各々以下 : -C(=O)OMe、-OMe、-C(=O)Me、-SO₂Me、-SO₂NMe₂、-C(=O)NH₂、-OCF₃、および -CH₂CH₂OH ; から独立して選択される、請求項 1 ~ 29 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 32】

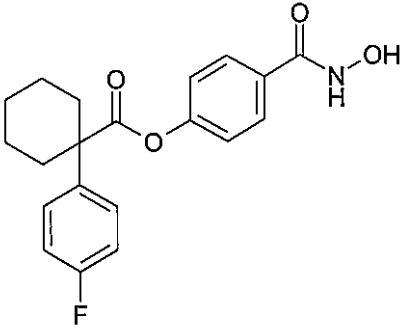
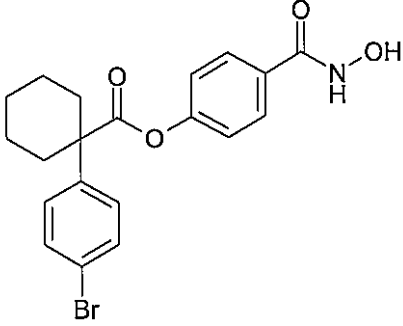
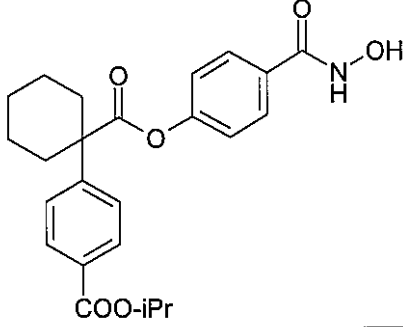
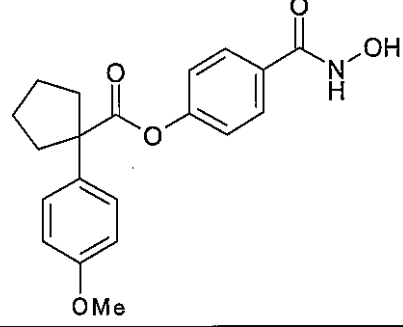
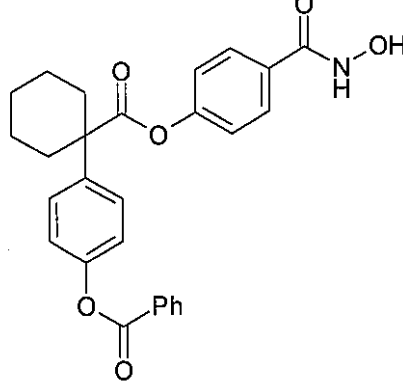
以下の化合物 :

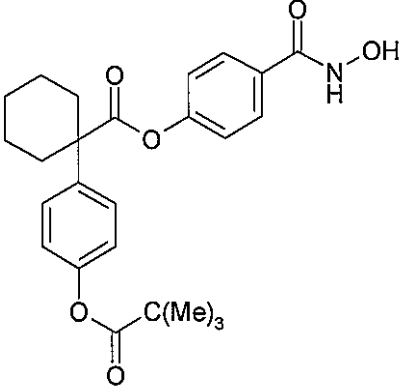
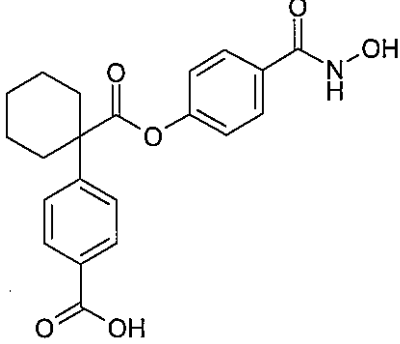
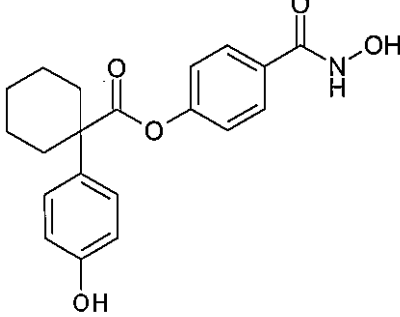
【化 8】

1	 <chem>COc1ccc(cc1)C2(CCCCC2)C(=O)Oc3ccc(cc3)C(=O)NO</chem>	PX118478
2	 <chem>c1ccccc1C2(CCCCC2)C(=O)Oc3ccc(cc3)C(=O)NO</chem>	PX118479
3	 <chem>COC(=O)c1ccc(cc1)C2(CCCCC2)C(=O)Oc3ccc(cc3)C(=O)NO</chem>	PX118480
4	 <chem>Fc1cc(Cl)ccc1C2(CCCCC2)C(=O)Oc3ccc(cc3)C(=O)NO</chem>	PX119101

5	 <chem>CCOC1=CC=C(C2(C3CCCCC3C(=O)OC4=CC=C(C(=O)NO)C=C4)C=C1)C=C2</chem>	PX118925
6	 <chem>CC(C)(C)COC(=O)C1=CC=C(C2(C3CCCCC3C(=O)OC4=CC=C(C(=O)NO)C=C4)C=C1)C=C2</chem>	PX118926
7	 <chem>CC(=O)OC1=CC=C(C2(C3CCCCC3C(=O)OC4=CC=C(C(=O)NO)C=C4)C=C1)C=C2</chem>	PX118959
8	 <chem>CC1=CC=C(C2(C3CCCCC3C(=O)OC4=CC=C(C(=O)NO)C=C4)C=C1)C=C2</chem>	PX118966
9	 <chem>c1ccc(cc1C2(C3CCCCC3C(=O)OC4=CC=C(C(=O)NO)C=C4)C=C2)c5ccccc5</chem>	PX119058

10	 <chem>O=C(Oc1ccc(O)cc1)C2(CCC(CC)CC2)c3ccc(Cl)cc3</chem>	PX119059
11	 <chem>O=C(Oc1ccc(O)cc1)C2(CCC(CC)CC2)c3cc(F)ccc3</chem>	PX119061
12	 <chem>O=C(Oc1ccc(O)cc1)C2(CCC(CC)CC2)c3cc(F)ccc3</chem>	PX119062
13	 <chem>O=C(Oc1ccc(O)cc1)C2(CCC(CC)CC2)c3cc(Cl)cc(F)c3</chem>	PX119064

14	 <chem>O=C(NO)c1ccc(OC(=O)C2(Cc3ccc(F)cc3)CCCC2)cc1</chem>	PX119065
15	 <chem>O=C(NO)c1ccc(OC(=O)C2(Cc3ccc(Br)cc3)CCCC2)cc1</chem>	PX119084
16	 <chem>CC(C)COC(=O)c1ccc(C2(Cc3ccc(OC(=O)C4(C)CCCC4)CCCC2)cc3)cc1</chem>	PX119100
17	 <chem>COc1ccc(C2(Cc3ccc(OC(=O)C4(C)CCCC4)CCCC2)cc3)cc1</chem>	PX119063
18	 <chem>O=C(NO)c1ccc(OC(=O)C2(Cc3ccc(OC(=O)c4ccccc4)cc3)CCCC2)cc1</chem>	PX119085

19		PX119086
20		PX119102
21		PX119103

並びに、その薬学的に許容される塩および溶媒和物から選択される請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3 3】

請求項 1 ~ 3 2 のいずれか 1 項に記載の化合物と、薬学的に許容される担体とを含む組成物。

【請求項 3 4】

ヒトまたは動物身体の治療方法に使用するための請求項 3 3 に記載の組成物。

【請求項 3 5】

癌、

乾癬、

線維増殖性障害、肝線維症

平滑筋増殖性障害、アテローム性硬化症、再狭窄、

神経変性疾患、アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン舞蹈病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性、

炎症性疾患、骨関節症、関節リウマチ、

新脈管形成を伴う疾患、関節リウマチ、糖尿病網膜症、

造血障害、貧血、鎌状赤血球貧血、サラサミア、

真菌感染、

寄生体感染、マラリア、トリパノソーマ症、蠕虫病、原生動物感染、

細菌感染、

ウイルス感染、

多発性硬化症、自己免疫性糖尿病、狼瘡、アトピー性皮膚炎、アレルギー、喘息、アレルギー性鼻炎、または炎症性腸疾患の治療方法に使用するための請求項 3 3 または 3 4 に記載の組成物。

【請求項 3 6】

増殖症状の治療方法に使用するための請求項 3 3 または 3 4 に記載の組成物。

【請求項 3 7】

癌の治療方法に使用するための請求項 3 3 または 3 4 に記載の組成物。

【請求項 3 8】

乾癬の治療方法に使用するための請求項 3 3 または 3 4 に記載の組成物。

【請求項 3 9】

癌、

乾癬、

線維増殖性障害、肝線維症

平滑筋増殖性障害、アテローム性硬化症、再狭窄、

神経変性疾患、アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン舞蹈病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性、

炎症性疾患、骨関節症、関節リウマチ、

新脈管形成を伴う疾患、関節リウマチ、糖尿病網膜症、

造血障害、貧血、鎌状赤血球貧血、サラサミア、

真菌感染、

寄生体感染、マラリア、トリパノソーマ症、蠕虫病、原生動物感染、

細菌感染、

ウイルス感染、

多発性硬化症、自己免疫性糖尿病、狼瘡、アトピー性皮膚炎、アレルギー、喘息、アレルギー性鼻炎、または炎症性腸疾患の治療に使用する医薬を製造するための、請求項 1 ~ 3 2 のいずれか 1 項に記載の化合物の使用。

【請求項 4 0】

増殖症状の治療に使用する医薬を製造するための、請求項 1 ~ 3 2 のいずれか 1 項に記載の化合物の使用。

【請求項 4 1】

癌の治療に使用する医薬を製造するための、請求項 1 ~ 3 2 のいずれか 1 項に記載の化合物の使用。

【請求項 4 2】

乾癬の治療に使用する医薬を製造するための、請求項 1 ~ 3 2 のいずれか 1 項に記載の化合物の使用。

【請求項 4 3】

in vitroで細胞におけるHDACを阻害する方法であって、請求項 1 ~ 3 2 のいずれか 1 項に記載の有効な量の化合物に該細胞を接触させることを含む前記方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 5 7】

[式中、

J は結合官能基であって、独立して：

-O-C(=O)-または-C(=O)-O-又は-C(=O)-であり；

Cyはシクリル基であって、独立して：

C₃₋₂₀カルボシクリル、C₃₋₂₀ヘテロシクリル又はC₅₋₂₀アリールであり；

そして任意に置換され；

Q¹はシクリルリーダー基であって、独立して、4～7個の環原子を有する飽和単環式炭化水素の1つの環炭素原子から2個の水素原子を除去することにより、又は、1個の窒素環原子若しくは1個の酸素環原子を含む、4～7個の環原子を有する飽和単環式複素環式化合物の1つの環炭素原子から2個の水素原子を除去することにより、得られる二価の二座配位基であり；そして任意に置換され；

Q²は、酸リーダー基であって、独立して；

C₁₋₈アルキレンであり；

そして任意に置換される；か、

又は、

Q²は、酸リーダー基であって、独立して；

C₅₋₂₀アリーレン；

C₅₋₂₀アリーレン-C₁₋₇アルキレン；

C₁₋₇アルキレン-C₅₋₂₀アリーレン；もしくは

C₁₋₇アルキレン-C₅₋₂₀アリーレン-C₁₋₇アルキレンであり；

そして任意に置換される。]

の化合物、並びにその薬学的に許容される塩、溶媒和物、アミド、エステル、エーテル、化学的に保護された形態及びプロドラッグに関する。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0066

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0066】

シクリルリーダー基 (cyclyl leader group)、Q¹

シクリルリーダー基、Q¹は、独立して、4～7個の環原子を有する飽和単環式炭化水素の1つの環炭素原子から2個の水素原子を除去することにより、あるいは、1個の窒素環原子または1個の酸素環原子を含む、4～7個の環原子を有する飽和単環式複素環式化合物の1つの環炭素原子から2個の水素原子を除去することにより、得られる二価の二座配位基であり；これは、任意に置換される。